



岩手県畜産協会会長杯 第48回 すずらん賞 (M3)

盛岡競馬場 3歳以上オープン・ダート1800m

11月2日(日) 17:35発走

すずらん賞は1978年に創設され、第1回から第10回まで旧盛岡・水沢1800mで行われましたが、第11回から1600mに固定。一時は南部杯トライアルでしたが、2000年から青藍賞が南部杯トライアルへ移行。すずらん賞は青藍賞トライアルに位置付けられましたが、昨年からは北上川大賞典トライアルへ移行し重賞へ再格上げ。距離も1800mへ延長されました。

【注目馬情報】

★ヒロシクン セン6歳 佐藤雅彦きゅう舎・水沢

今シーズンは赤松杯から始動し、シアンモア記念と連勝。フジュージーンの追撃を封じて春のマイル王へ君臨しました。続いて一條記念みちのく大賞典2連覇を目指しましたが、3歳馬リケアカプチャーとの壮絶なマッチレースの末、ハナ差2着に惜敗しました。マーキュリーカップ10着後、夏休みに入り青藍賞で戦列復帰。またもやフジュージーンを退けて2連覇を達成しました。盛岡ダート1800mは未経験ですが、中央ダート1800m1勝3着3回の実績を誇り、むしろ望むところ。重賞2連勝へ王手をかけました。

★ミニアチュール 牝5歳 佐藤祐司きゅう舎・水沢

今季は牝馬重賞・フェアリーカップの1勝のみですが、伝統のシアンモア記念3着、一條記念みちのく大賞典3着。あすなろ賞2着と牡馬と互角の勝負。連覇の期待がかかったビューチフルドリーマーカップは5着に敗れ、前走も3着。伸びを欠いているのが気になりますが、今度は5戦4勝2着1回と最も好成績を残している盛岡ダート1800mが舞台。首位を奪回し、すずらん賞2連覇を狙います。

★ライアン 牡6歳 佐藤浩一きゅう舎・水沢

昨年は芝からダート変更した交流・せきれい賞、ファン投票・桐花賞で重賞2勝。今季初戦を快勝し、好発進を決めました。シアンモア記念6着、一條記念みちのく大賞典4着。芝交流・せきれい賞12着と精彩を欠きましたが、前々回快勝。青藍賞は5着でしたが、スローに泣いた一戦。距離延長を味方に巻き返しに転じます。

★スズカゴウケツ 牡8歳 千葉幸喜きゅう舎・水沢

南関東から帰郷後、2勝2着2回。芝重賞は5、7着に終わりましたが、ダートに戻って2戦2着から前回快勝。上昇ムードに乗っています。盛岡1800mは昨年のおすなろ賞優勝で適性を証明済み。

★ヘリオス セン9歳 千葉幸喜きゅう舎・水沢

中央8勝、2022年のマイルチャンピオンシップ南部杯でハナ差2着の大物が転入。3戦目のおすなろ賞を快勝して古豪健在を誇示しました。その時と同じ盛岡1800m戦で再現をもくろみます。

★ラストマン 牡8歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

中央ダート4勝、南関東A2級から転入。初戦は7着に終わりましたが、2戦目から軌道修正。6勝2着1回。特に盛岡戦での強さが際立っています。2021年、マーキュリーC5着なら格負けは一切ありません。

★シンヨモギネス 牡7歳 櫻田康二きゅう舎・盛岡

中央ダート1700m2勝後は白星から遠ざかっていましたが、2勝クラスで2着9回3着3回と連対率一目。南関東2戦を経て転入後、未勝利ながら2着3回。青藍賞3着と持ち味の決め手を発揮しています。

文／松尾 康司